

天文教育 2008 7

Society for Teaching and Popularization of Astronomy



<連載> 望遠鏡400年 / 最新宇宙誌 / 江戸時代の天文学

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで4～6ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～5は原則として奇数月末日、6～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000・半ページ ¥12,000・1/4ページ ¥7,000・チラシの折り込み ¥20,000です。

※本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集部からのお願い】

『天文教育』の編集は、編集委員による完全なボランティア作業で、日常的に多大の労力がかかっております。編集委員の作業負担軽減のために、ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますよう宜しくお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Word ファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレート（1ページ＝20字×38行×2段組）がホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。テンプレートをご利用の上、ご執筆ください（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Wordソフトをお持ちでない方は、『一太郎』ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net、FAX：0566-26-2624

表紙の言葉

高校生のすばる望遠鏡観測

これまでと随分と違った表紙に、おやと思われた方も多いことでしょう。時は2005年8月9日、場所はハワイ島マウナケア山頂、すばるのドーム内です。そして写っているのは日本の高校生です。彼らは見学者ではなく、太陽系外惑星を見つけるための観測者です。高校生がマウナケア山頂で夜間観測をしたのはもちろん、史上初めてのことです。彼らは自分たちが考えた計画に向かって行動し、初めてのすばる望遠鏡での観測を研究者の場合と同じように行っ

たのです。その成果は日本天文学会ジュニアセッションで発表されました。

学校の天文観測というと屋上ドーム、夏休みに合宿、クラブ活動などがキーワードでしたが、この写真は、本研究会員による天文教育普及の効果を物語っています。

詳しくは p.2 からの記事をお読みください。

撮影 布施哲治（国立天文台）

文 作花一志（京都情報大学院大学）